

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

平成29年 5月 19日

枚方市長 殿



提出者

住 所 愛知県半田市中村町二丁目6番

氏 名 株式会社 Mizkan

代表取締役 吉永 智征

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0569-21-3331

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、平成28年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 Mizkan 大阪工場
事業場の所在地	大阪府枚方市春日北町五丁目1番1号
事業の種類	09:食料品製造業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日

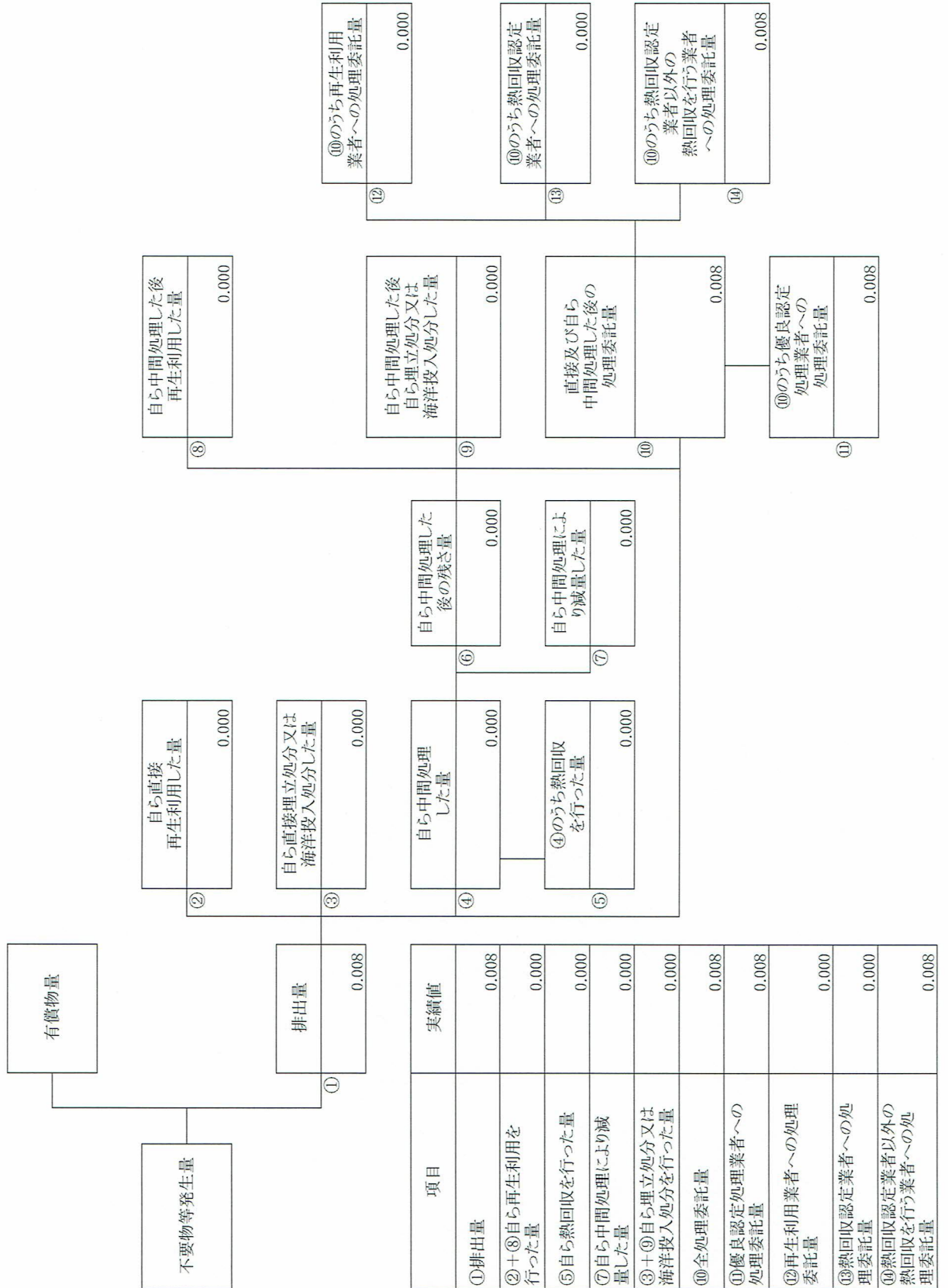
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	6,787 t	全処理委託量	1,702 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への 処理委託量	660 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への 処理委託量	1,006 t
自ら中間処理により減量す る 産業廃棄物の量	5,085 t	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	660 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

(産業廃棄物の種類：①汚泥)

計画の実施状況



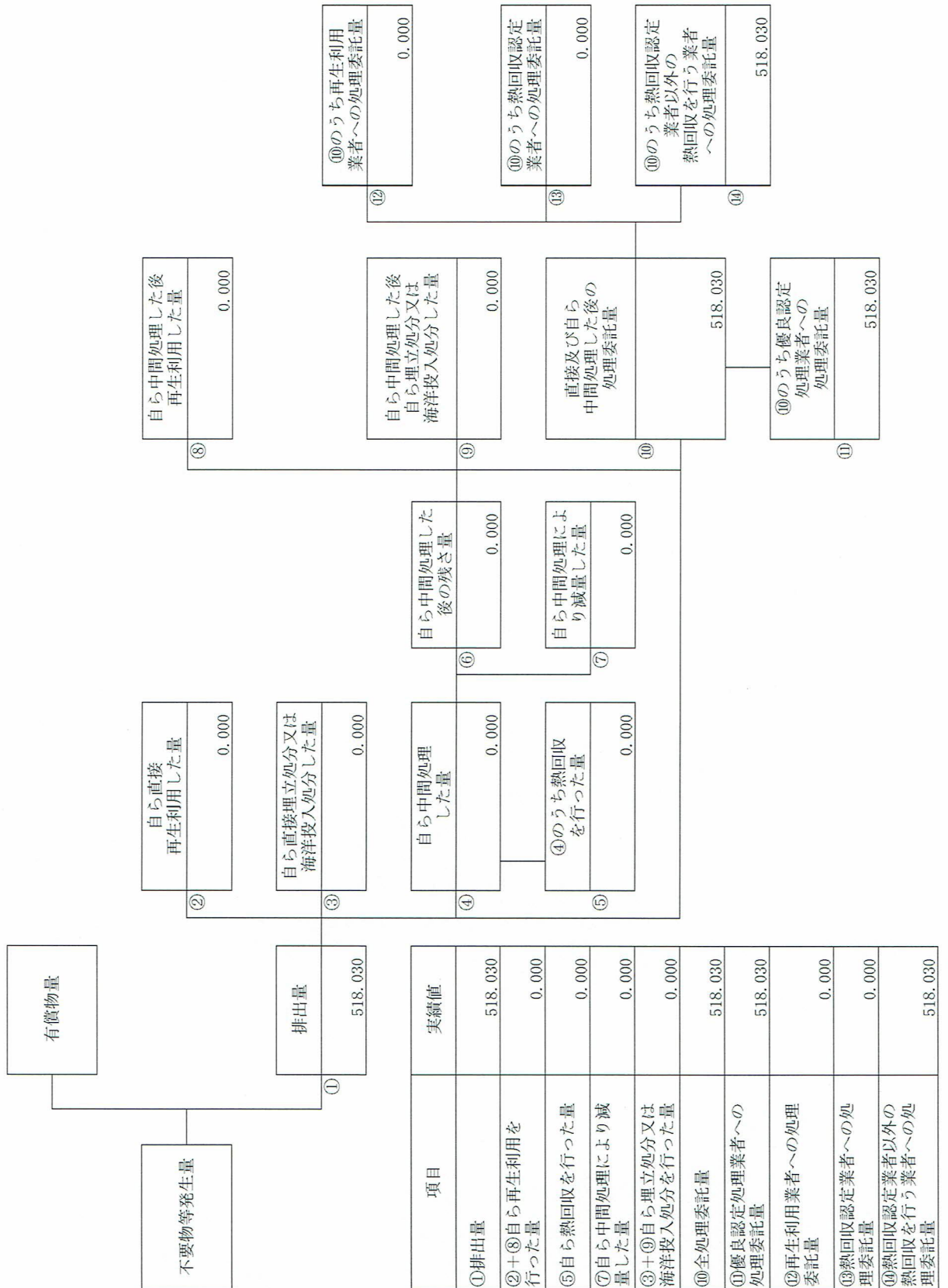
(産業廃棄物の種類: ②有機性汚泥)

計画の実施状況		有償物量	
不要物等発生量		排出量	
		①	7854.271
		②	0.000
		③	0.000
		④	7854.271
		⑤	0.000
		⑥	754.010
		⑦	7100.261
		⑧	0
		⑨	0.000
		⑩	754.010
		⑪	754.010
		⑫	754.010
		⑬	0.000
		⑭	0.000

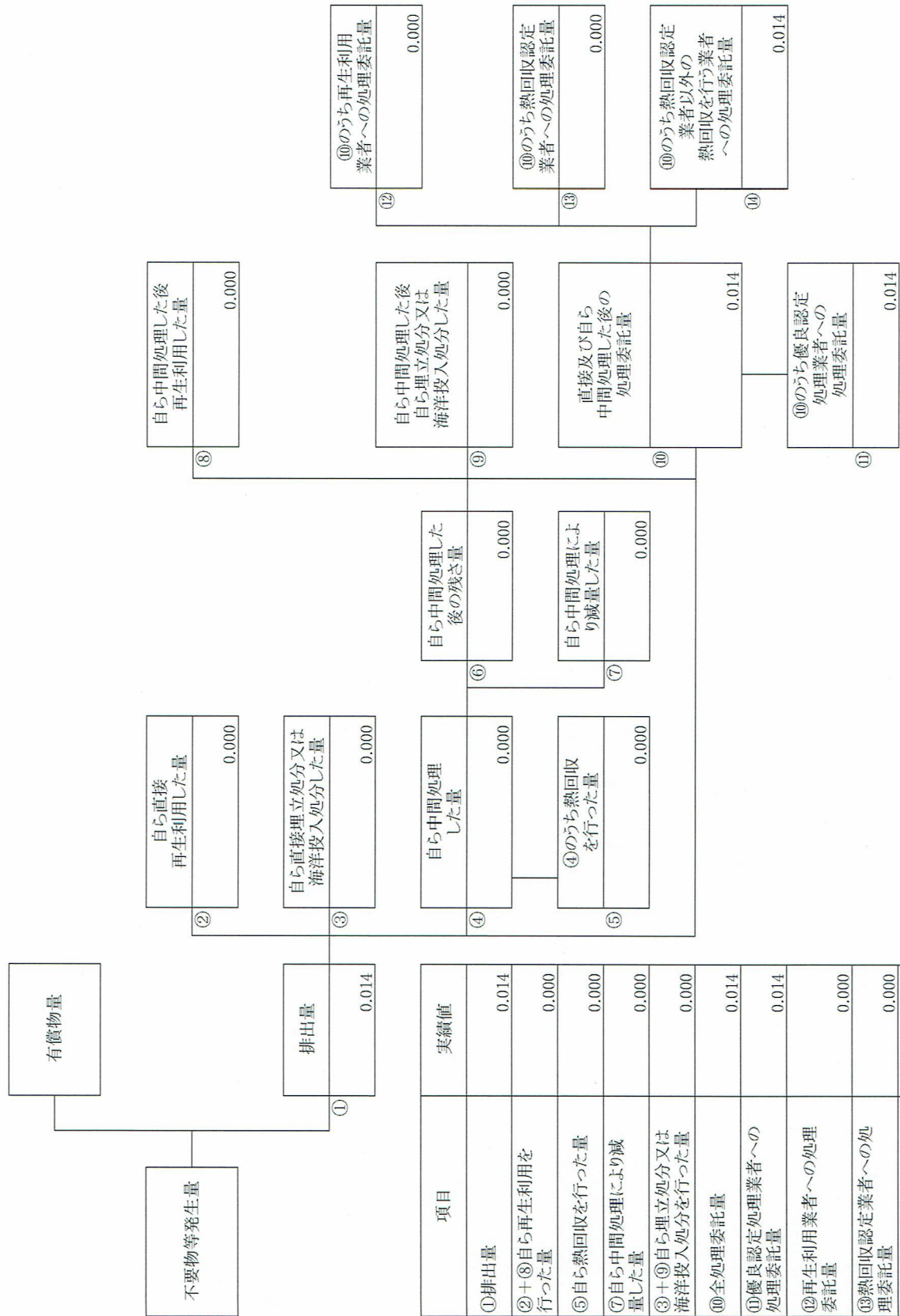
項目	実績値
①排出量	7854.271
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	7100.261
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	754.010
⑪優良認定処理業者への処理委託量	754.010
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	754.010
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000
⑮熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

(産業廃棄物の種類: ③無機性汚泥)

計画の実施状況



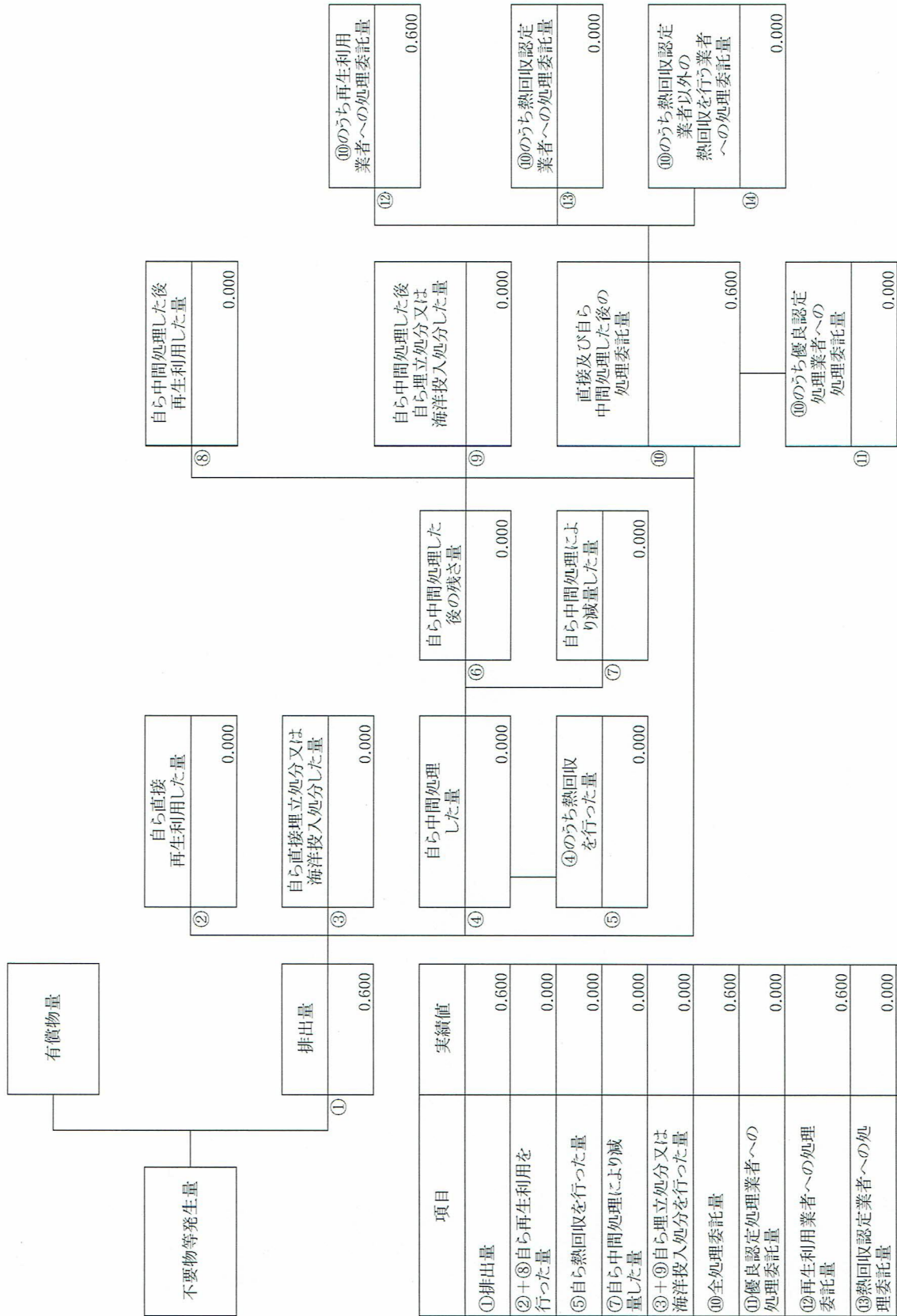
計画の実施状況
(産業廃棄物の種類：④廃油)

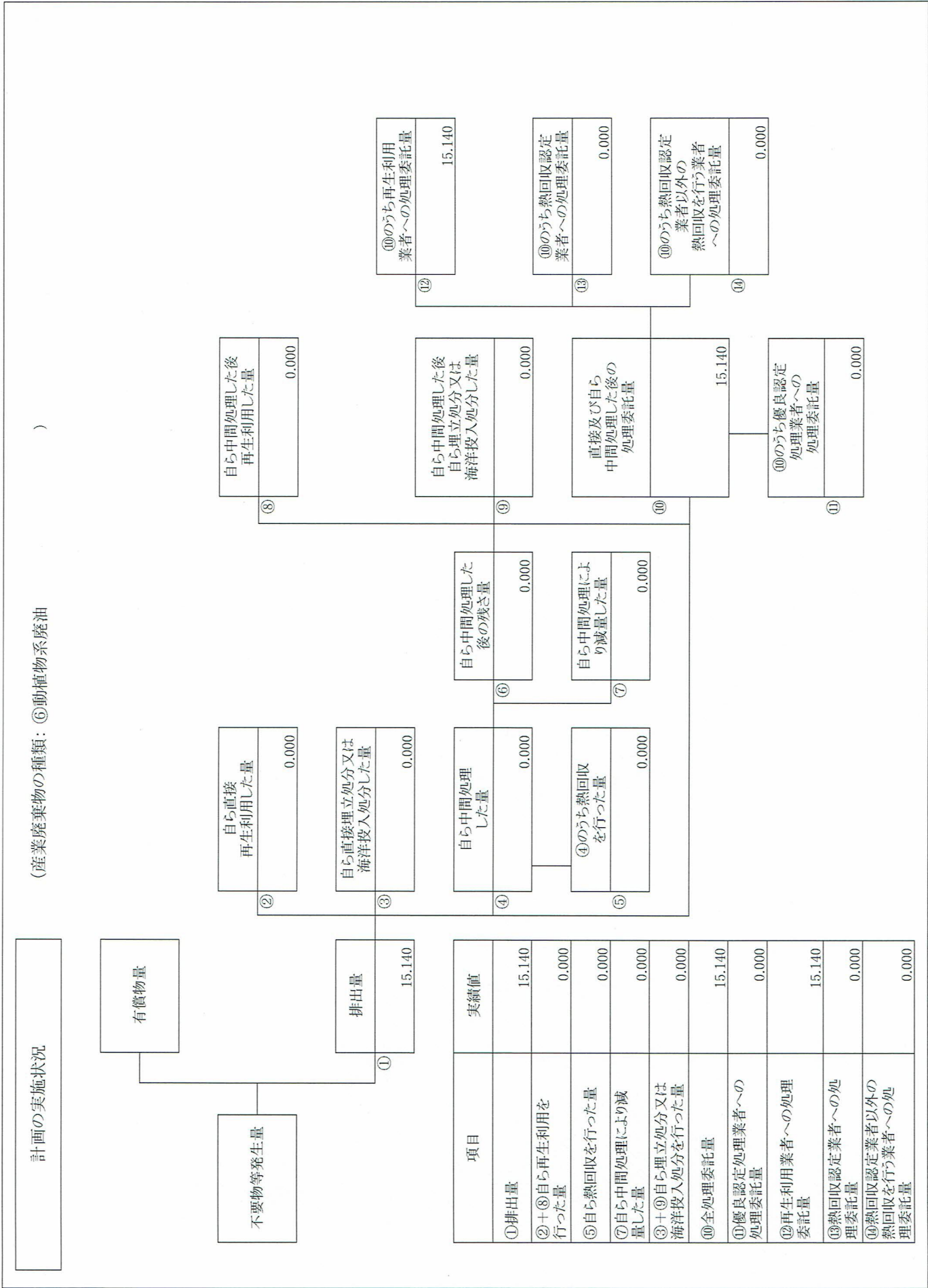


項目	実績値
①排出量	0.014
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	0.014
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.014
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	0.014

計画の実施状況

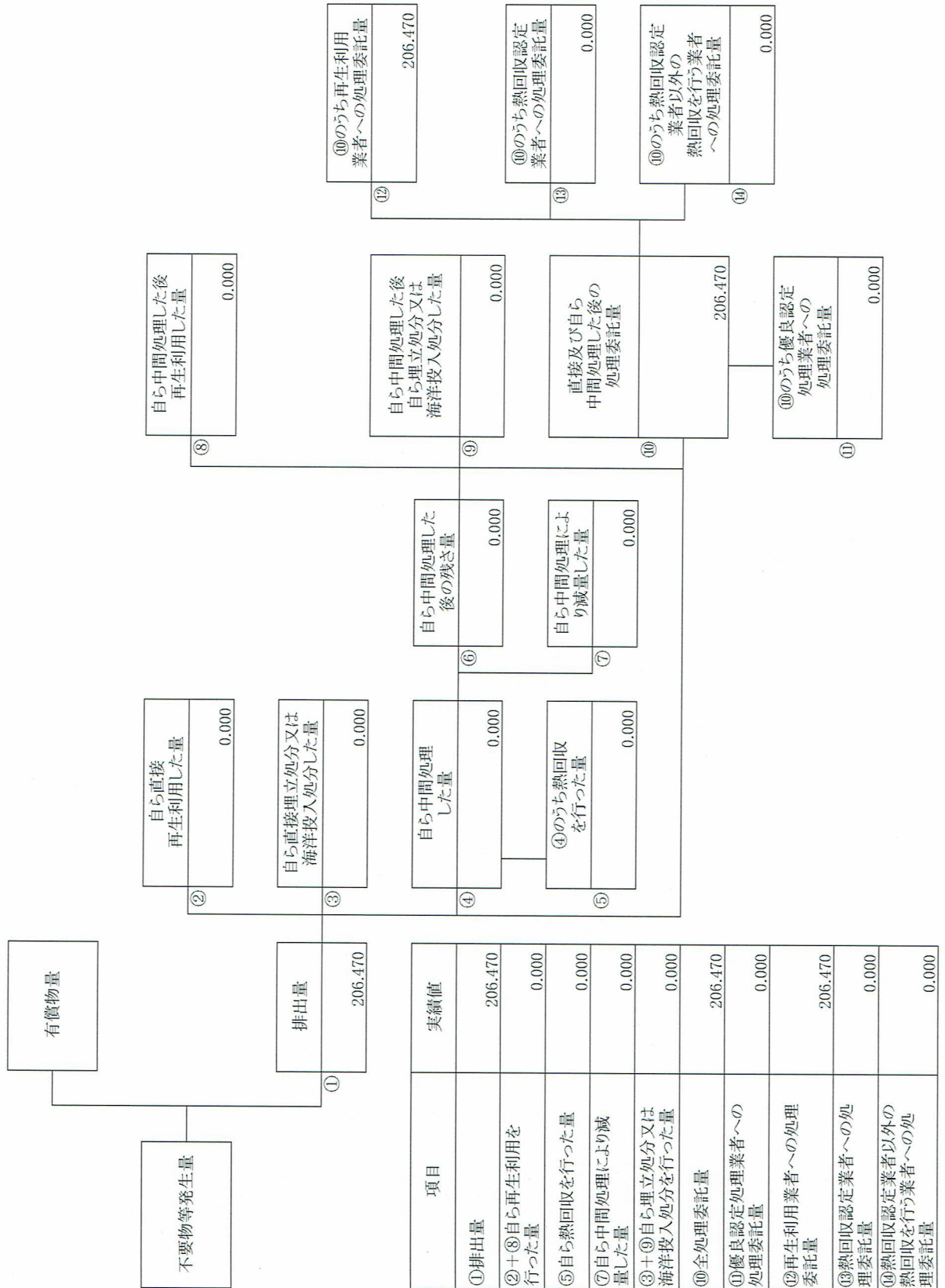
(産業廃棄物の種類：⑤鉱物系廃油)





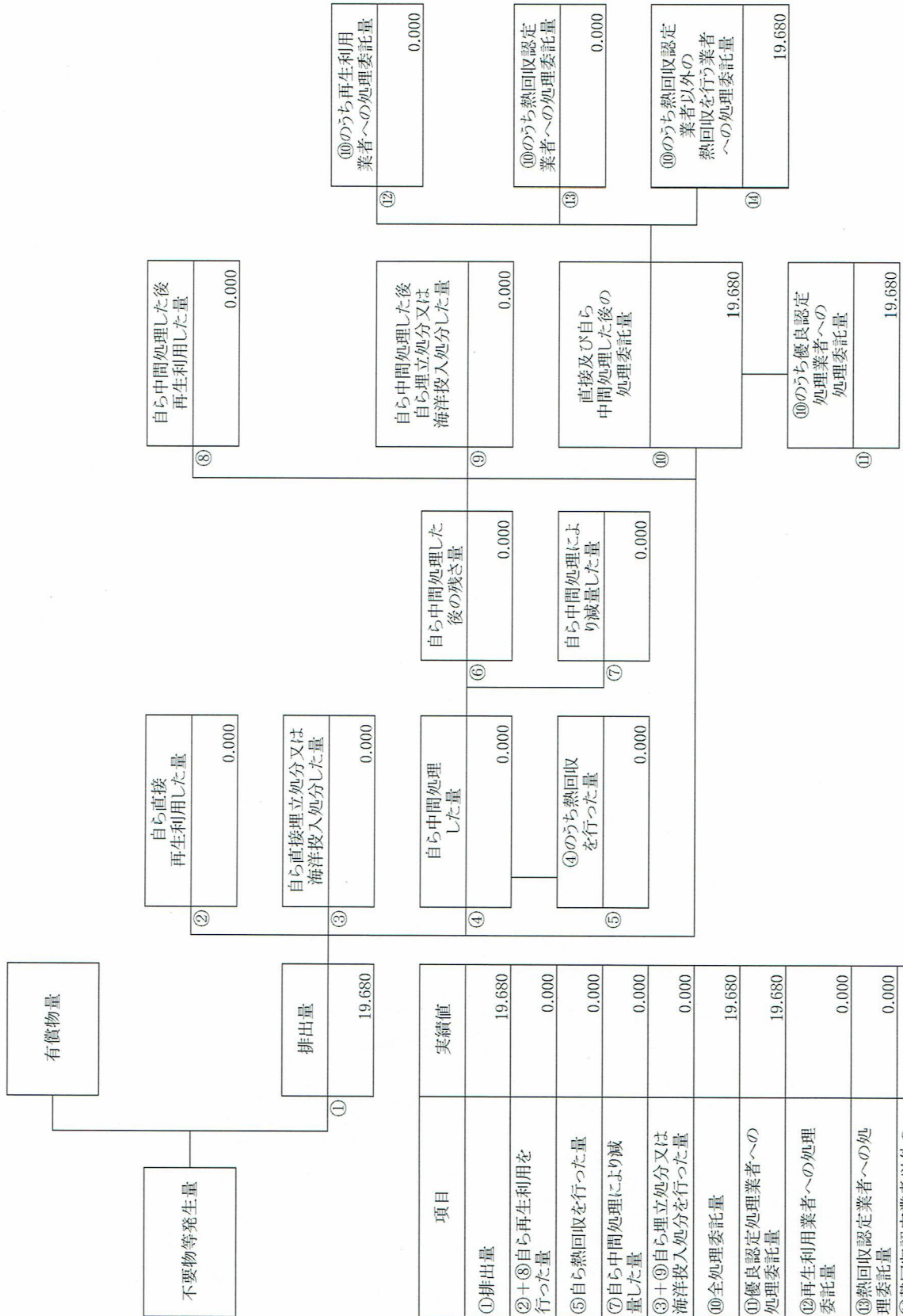
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑦廃酸)



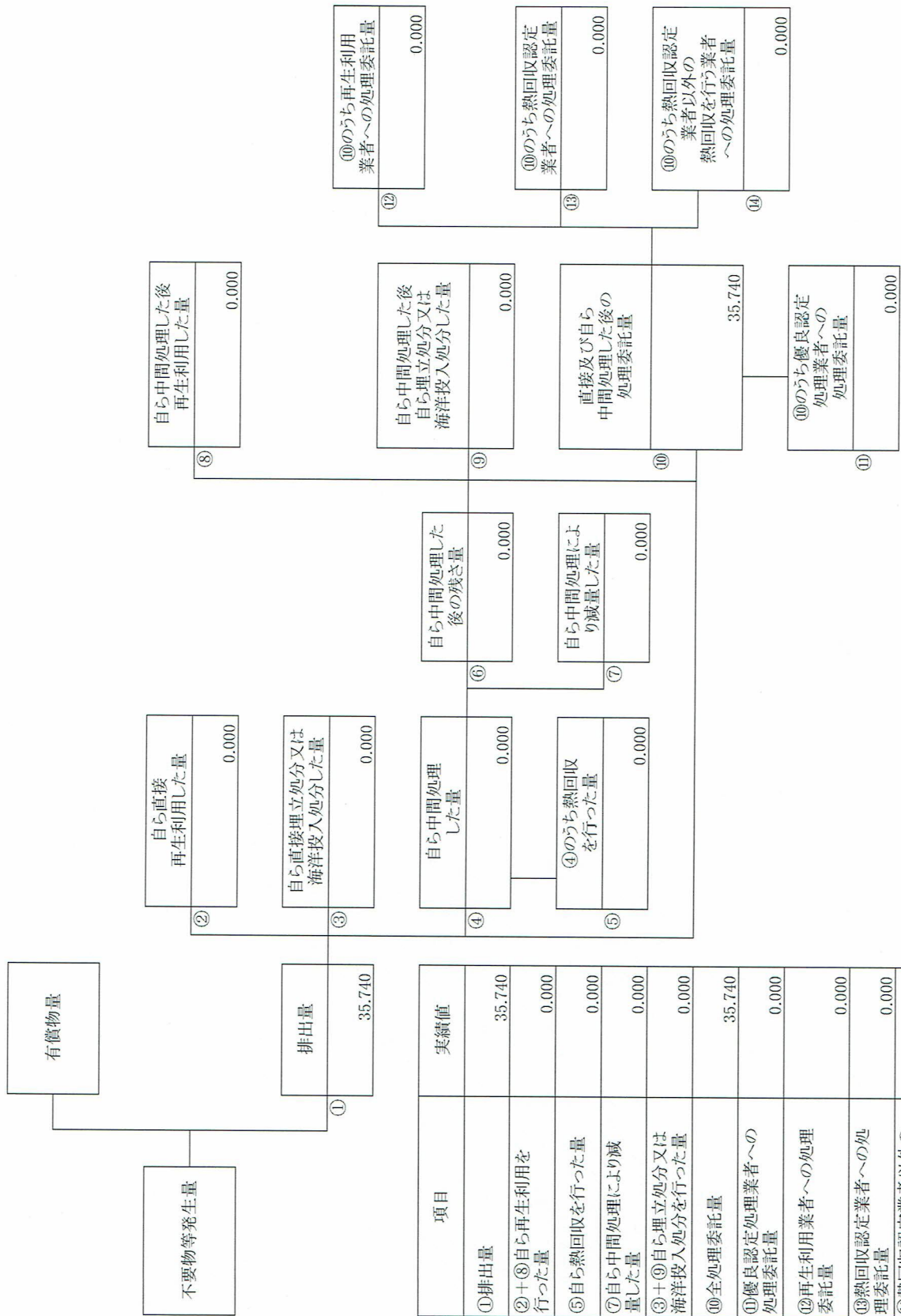
(産業廃棄物の種類：⑧廃酸(ガラス、廃プラスチック))

計画の実施状況



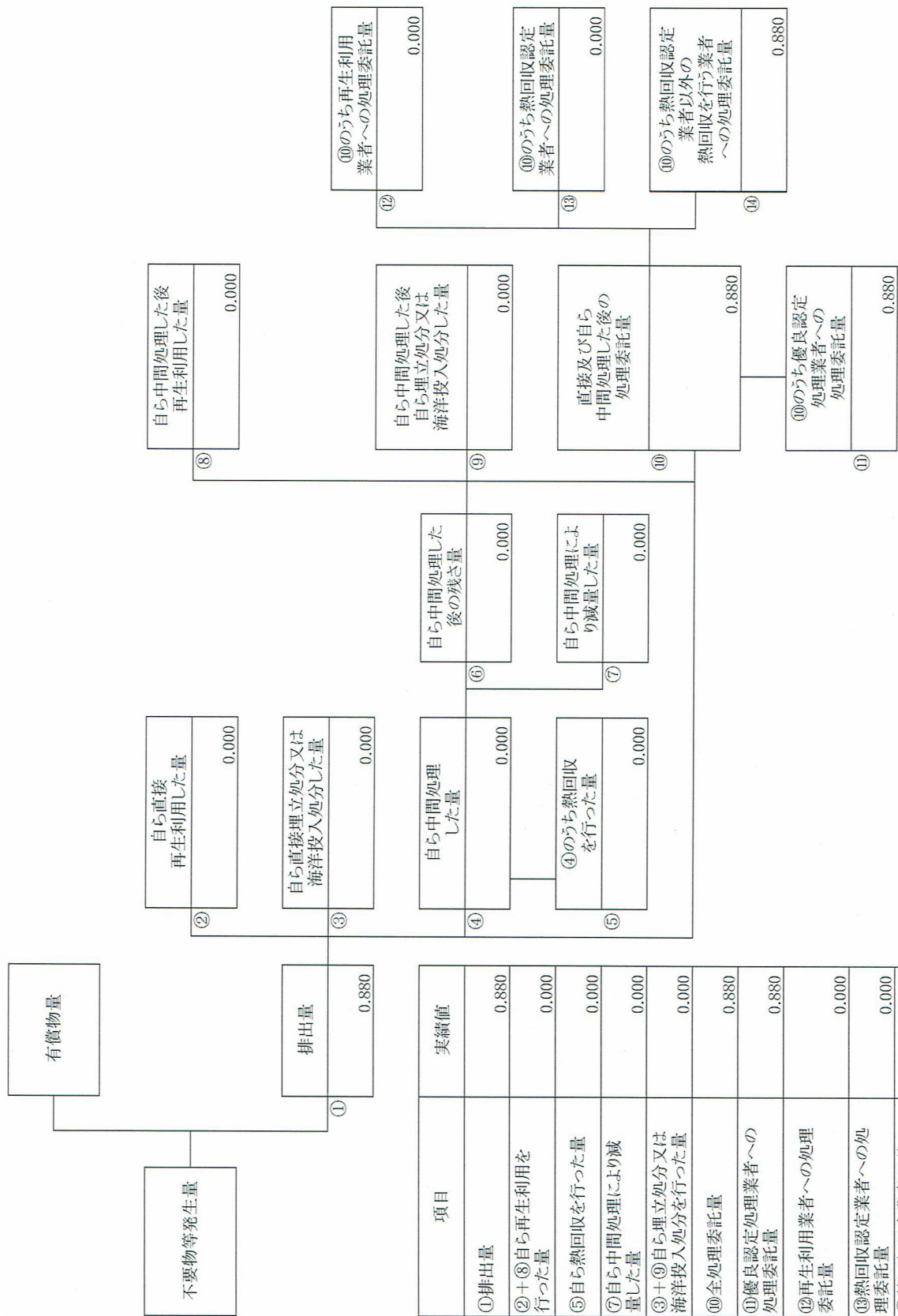
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑨廃プラスチック)

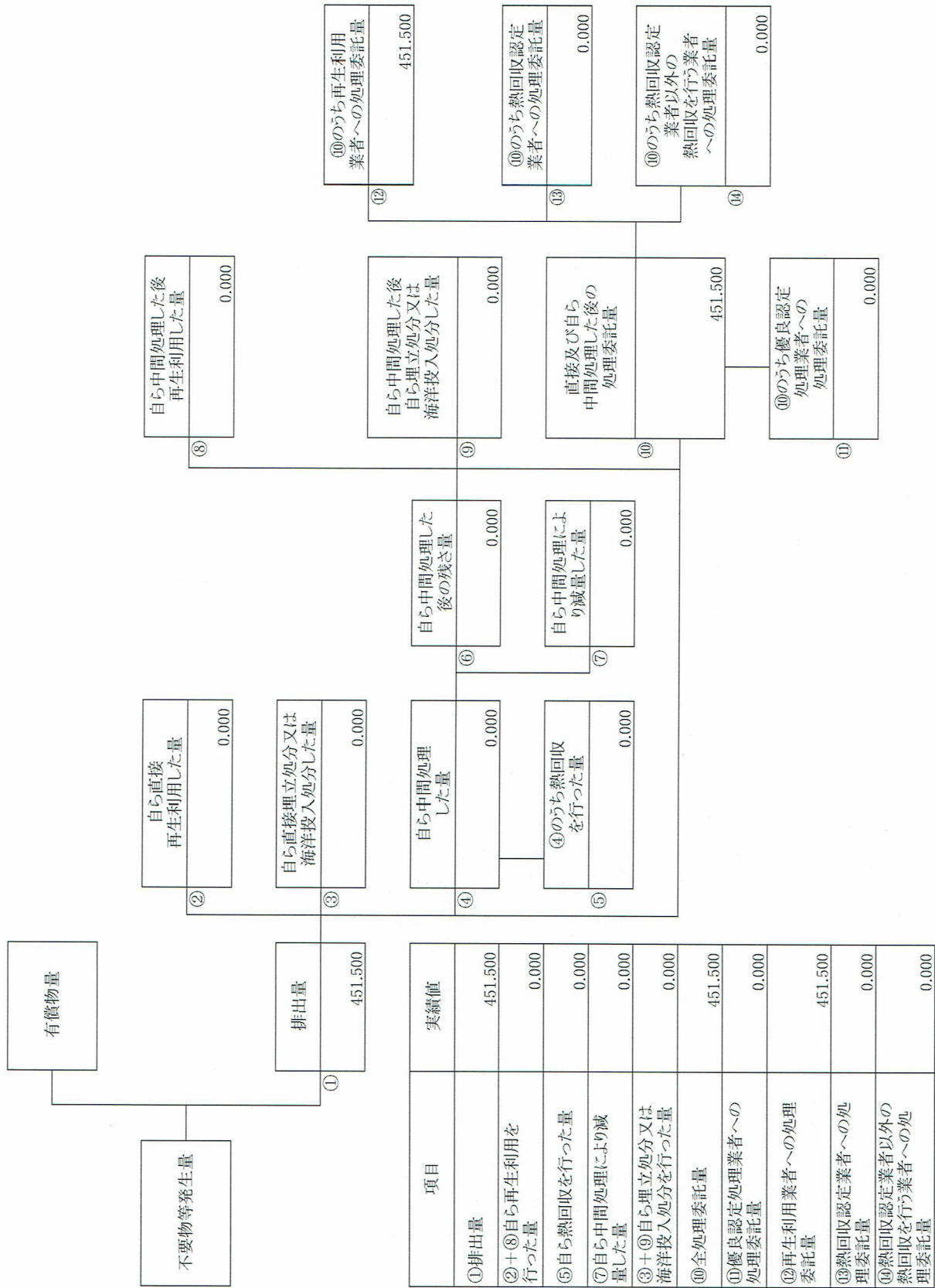


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑩木くず)

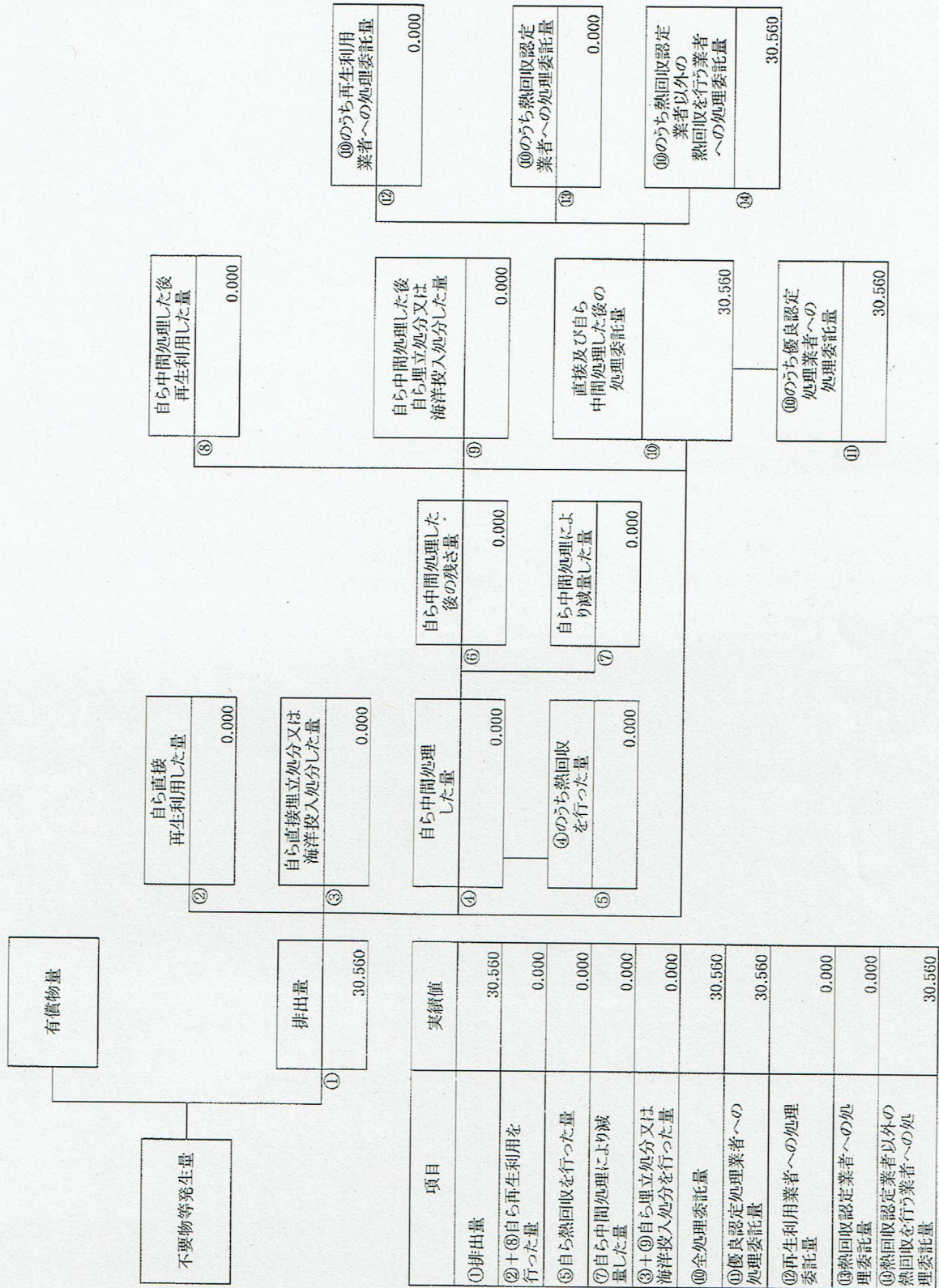


計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: ⑩動植物残渣)



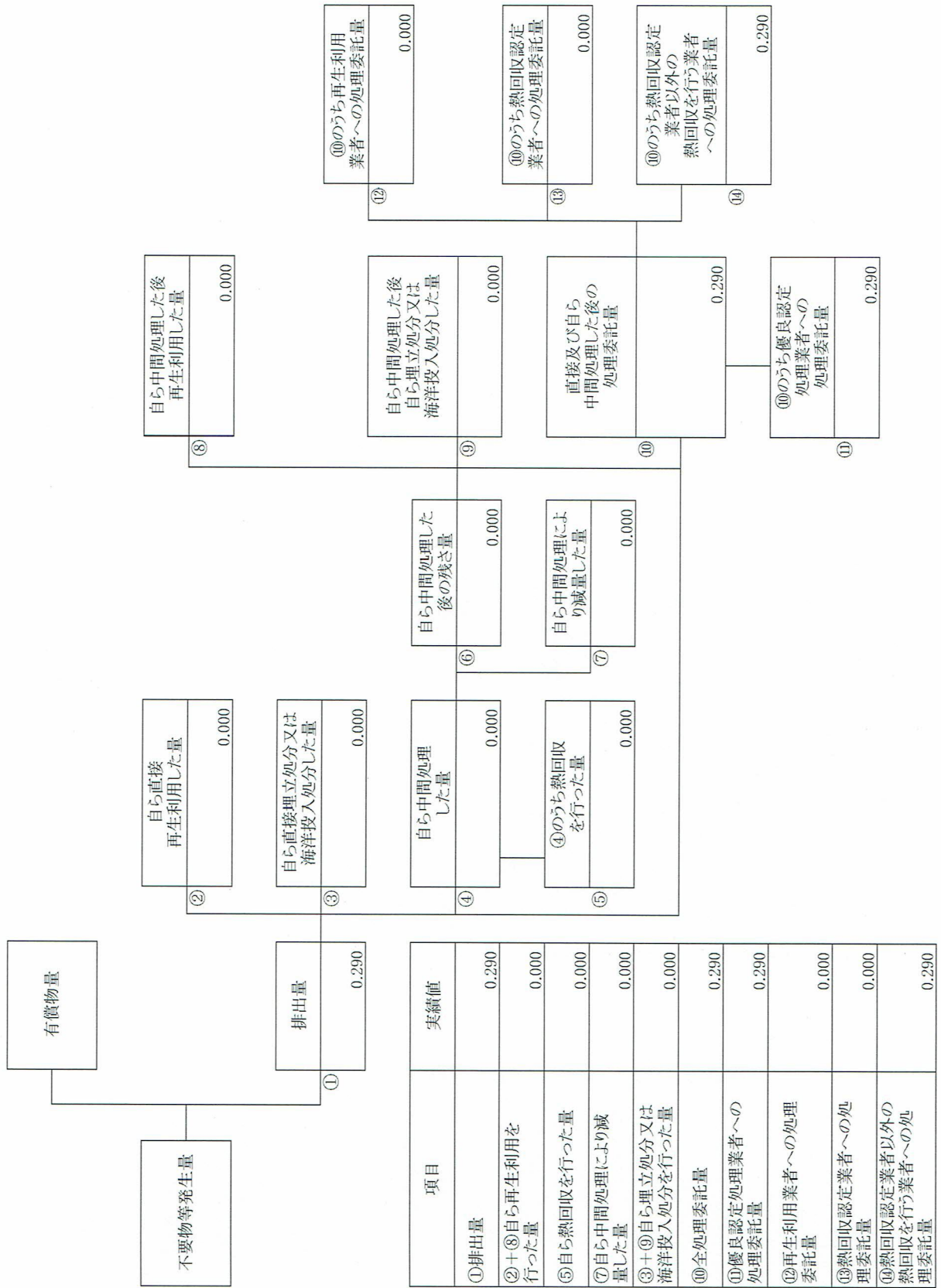
(産業廃棄物の種類: ⑫ガラスくず等)

計画の実施状況



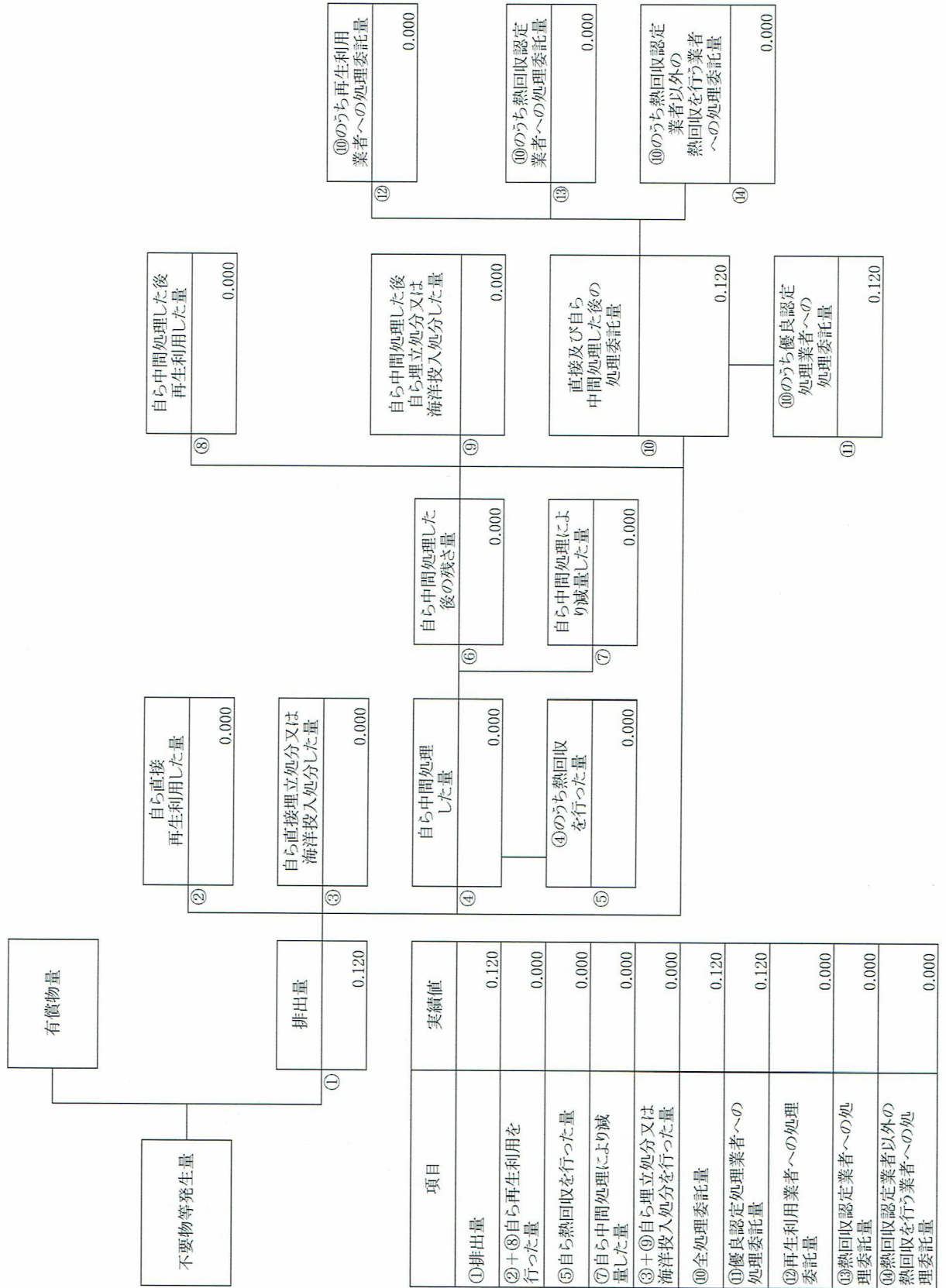
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑬廃電気機械器具)

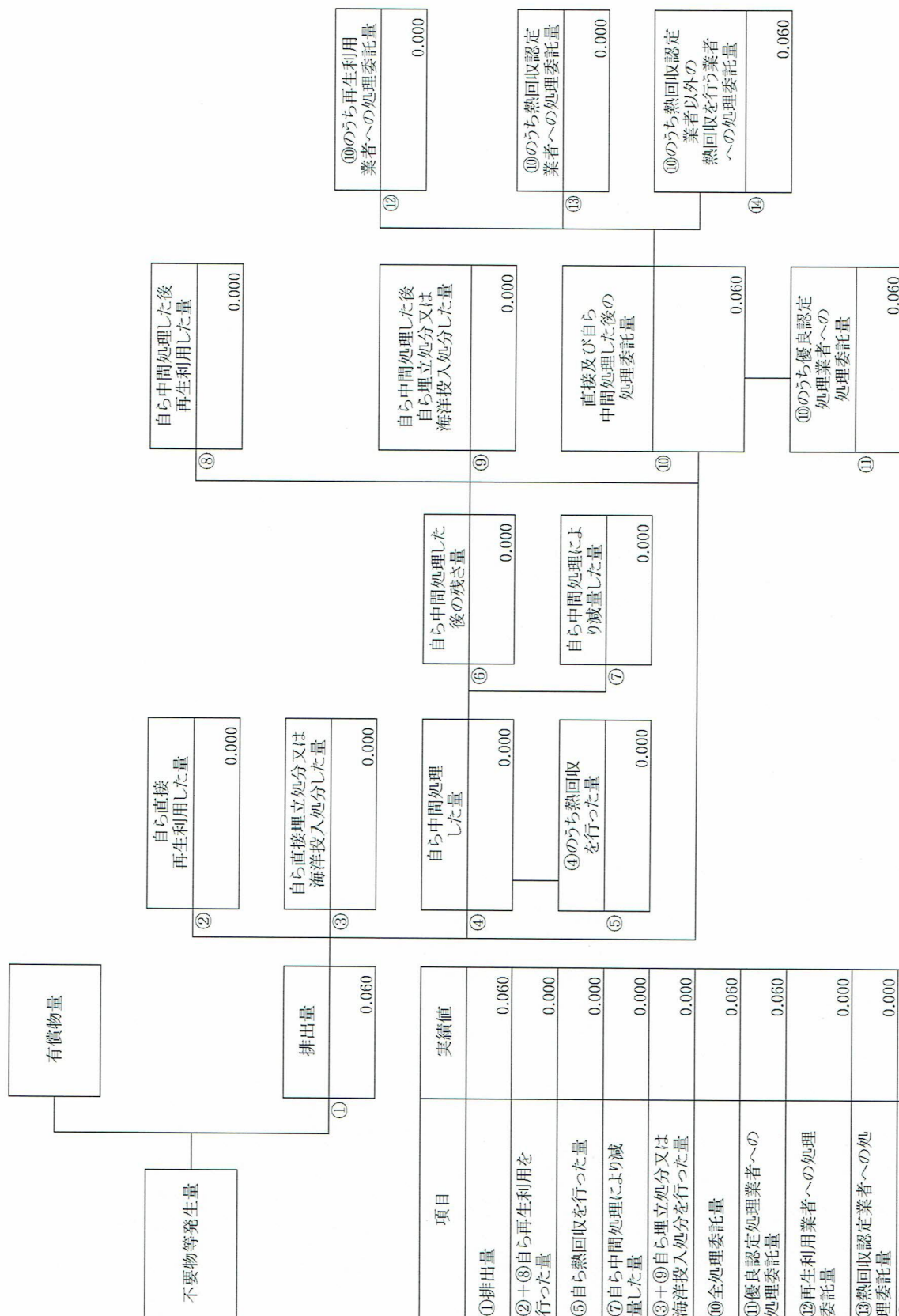


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑬蛍光灯)



計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	0.060
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③+⑨自ら埋入処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	0.060
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.060
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行った業者への処理委託量	0.060

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。